

日本研究フェローシップ

申請書略号：RJS-FW
担当：日本研究部

海外における日本研究を振興するため、日本について調査研究する学者・研究者等を日本に招へいし、日本で調査研究等の活動を行う機会を提供します。以下の3種類があります。

学者・研究者（長期）

対象者：人文・社会科学分野の手法を用いて日本に関わる研究（比較研究を含む）を行う研究者で、申請時点において博士号取得又はそれと同等の実績を有し、長期にわたり日本で研究・調査等の活動を行う方。

期間：4か月～12か月

学者・研究者（短期）

対象者：人文・社会科学分野の手法を用いて日本に関わる研究（比較研究を含む）を行う研究者で、申請時点において博士号取得又はそれと同等の実績を有し、資料収集・調査の実施等のため短期の訪日研究を必要とする方。

期間：21日～89日

博士論文執筆者

対象者：博士論文提出の資格を有し、人文・社会科学分野の手法を用いて日本に関わる研究（比較研究を含む）を行う大学院生等で、学位審査論文の作成に向け日本で研究・調査等の活動を行う必要がある方。

期間：4か月～12か月

申請資格

- 以下の要件を全て満たしている必要があります。
 - 日本と国交がある国の国籍又は永住権を有する方（台湾の方も「学者・研究者（長期）」又は「博士論文執筆者」に申請可能です）。
 - 申請時点において日本での受入教員・協力者が確保されている方。
 - 日本での活動に支障のない健康状態にあり、日本語又は英語での研究活動及びコミュニケーションが可能である方。
 - フェローシップの期間を通して日本に継続滞在することが原則として可能である方。
 - 過去に本フェローシップをはじめとするJFのフェローシップを受給したことがある場合には、その受給期間終了後、2024年4月1日までの期間が満3年（ただし、直近で受給したフェローシップが「学者・研究者（短期）」の場合は満1年）を経過している方。

② 以下のいずれかに該当する方は申請できません。

- ア 自然科学・医学・工学分野を対象とする方。
- イ 学部学生・修士課程在籍者、日本の大学の学部・修士課程への在籍を目的とする方、及び同博士課程での単位取得を目的とする方。
- ウ 日本語習得、産業関係の技術習得、日本語教材制作及び芸術・伝統文化（茶道・華道等）分野の技能習得を目的とする方。
- エ 同時期に訪日のための旅費・滞在費が含まれる他のフェローシップ、奨学金、研究助成金等を受給する方。
- オ 2024年4月1日から遡って1年以上継続して日本に滞在する方。
- カ 他のJF公募プログラムに申請する方。
- ※ ポスト・ドクトラル研究者を対象としてJFが他の国内機関と共同して運営する「JF-GJSフェローシップ」（東京大学東洋文化研究所と共同）又は「JF-日文研フェローシップ」（国際日本文化研究センターと共同）に応募される方は、「日本研究フェローシップ」への申請も可能です。「JF-GJSフェローシップ」「JF-日文研フェローシップ」の詳細については、r_info@jpf.go.jp宛メールにてお問い合わせください。

支給内容

往復航空賃（居住地—日本間の最短経路による割引エコノミークラス）、滞在費等

採用実績（参考）

採用 88 件／応募 253 件（令和5年度）

選考方針

- ① 全プログラム共通の選考方針は p. 3 をご覧ください。
- ② 選考に際しては、研究内容が当該分野や申請者のキャリアにおいて持ちうる意義、研究活動における日本滞在の必要性、目的達成の見込みなどが考慮されます。また、申請者の学歴、職歴、所属機関における地位、研究業績なども考慮されます。
- ③ JF のフェローシップを過去2度以上受けた方は、特に優先度が低くなります。

申請締切

2023年12月1日15時（日本時間）（公募申請サイト）

- ※ 米国の申請者は、申請方法・期限が異なります。次のJF ニューヨーク日本文化センターのウェブサイトをご確認の上、2023年12月1日23時59分（米国東部時間）までに申請を行ってください。

<https://ny.jpf.go.jp/grants/grants-for-japanese-studies/fellowship-program/>

結果通知

2024年4月